

## 生活科・総合学習の研究概要

### 1 研究主題

かかわり合い、気付き、ともに学ぶ子どもの育成  
～主体性を引き出し、気付きや学びの質を高める～

### 2 主題設定の理由

#### (1) 今日の課題から

知識基盤社会やグローバル化が進み、変化の激しい社会になるであろう1世紀において、変化に対応する資質や能力及び態度を育むことが求められている。それは、他者や社会に主体的にかかわり、その中で切磋琢磨して課題を解決しつつも、自己と対話しながら自分自身を深めることと言い換えることができる。こうした人間を育むために小学校教育では、新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ「生きる力」を育んでいく必要がある。

#### (2) 地域や子どもの実態から

大野地区は、周囲を山や田畑、河川や海に囲まれ自然豊かなところである。そうした環境のもと、現時点でできる地域の自然や地域社会に根ざした具体的な活動や体験を学習活動に取り入れ、生活科や総合学習を展開することによって、進んでかかわり合い、気付き、ともに学んでいこうとする主体的な生活・学習態度を育てることができる考える。

#### (3) 教師の願いから

生活科や総合的な学習の時間では、出会った人・社会・自然などから気付き、自分が学び取ったことを友だちと交流しながら、さらに考えや思いを深め、よりよい解決に向けて工夫する子ども、さらには、新たな課題を自分で探ろうとする子どもをめざしていきたい。このような子どもを求めて教師が取り組むことにより、子どもの主体的な学習態度、子ども自身の気付きや学びの質を高めていきたいと考えている。

### 3 研究主題についての基本的な考え方

- (1) 「かかわり合い」…対象（人・もの・こと）に働きかけたり、働きかけ返されたりといった行き来のある交流のこと
- (2) 「気付き」…新たに思考したり認識したりするためのきっかけであり、質的に変化するもの
- (3) 「ともに学ぶ」…友だちと見方や感じ方、考え方を交わす中で、それらを高めながら学ぶこと

#### 4 求める子どもの姿

- 出あった対象に触れ気付く子ども
- 考えを交流する子ども
- 解決に向けて工夫する子ども
- 考えや思いを深める子ども

#### 5 研究計画

〈1年次〉 学習への意欲や主体性を高め、気付きや学びの質を高める指導の工夫

〈2年次〉 学び合いや伝え合いの充実を図り、気付きや学びの質を高める指導

〈3年次〉 気付きや学びの高まりを実感させ、次の学習への新たな意欲を生み出す指導と評価の工夫

#### 6 研究の内容

視点(1) 目標や育てたい力を明確にした意図的、計画的な単元構成と指導計画の作成

- 目の前の子どもの実態に合わせた単元構成の作成
- はぐくみたい資質や能力の明確化と子どもや環境の実態に合わせた指導計画の作成

視点(2) 横断的・総合的な学習や探究的な学習の展開、子どもの気付きや学びの質を高めるための教材の開発と授業の充実

- 手立て
- ア 様々な気付きや課題が生まれる地域素材の教材化
  - イ 解決に向けて動き出したくなる教材提示の工夫
  - ウ 自己決定場面のある授業展開の工夫
  - エ 多様な価値観が交わされる授業展開の工夫

視点(3) 主体性や子どもの気付きや学びの質を高めるための指導と評価の一体化の模索

- 手立て
- ア 指導に生かす見取りの累積方法の工夫
  - イ 見取りを生かした称賛や提案の工夫
  - ウ 見取りを生かした授業展開の工夫

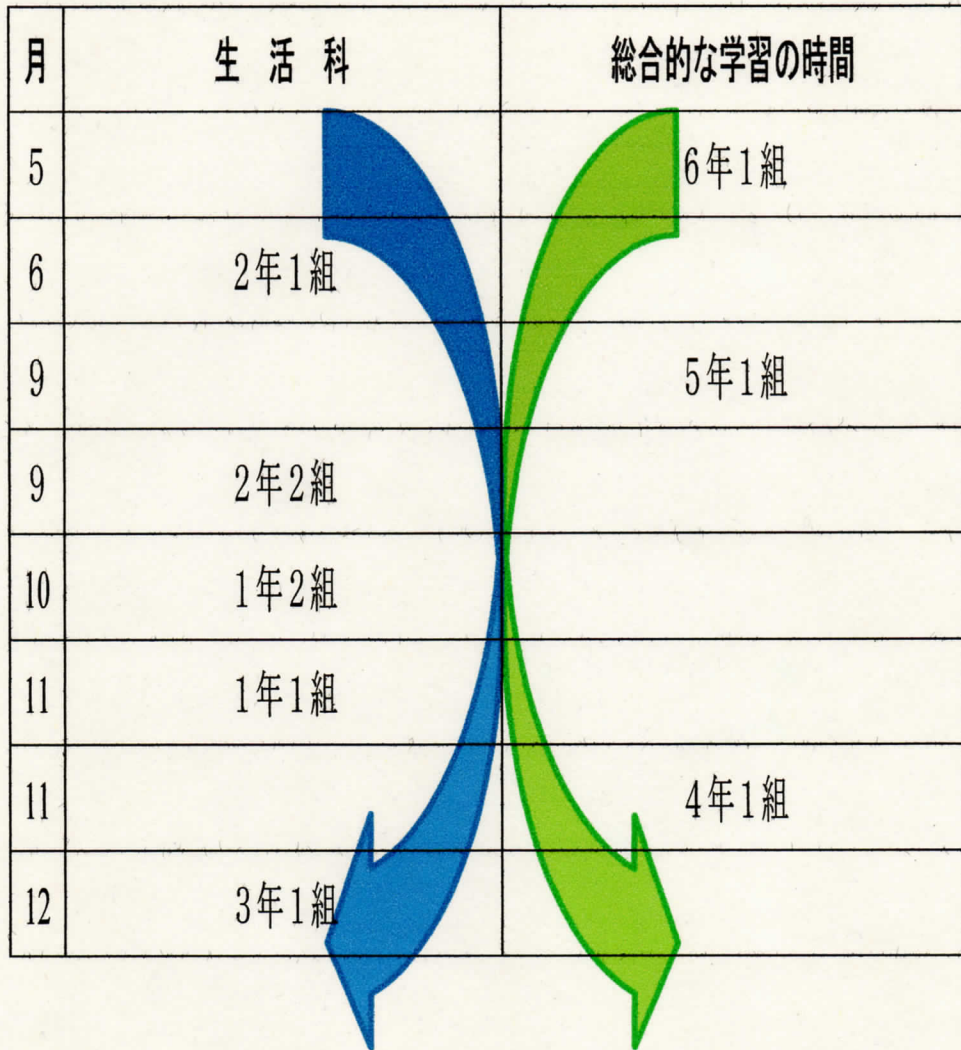
#### 7 研究の方法

- (1) 生活科と総合的な学習の時間の関連を図りながら、実践的な研究を進める。
- (2) 生活科と総合学習それぞれにおいて、1年間の研究授業の中で今年度設けた手立

てをすべて網羅し検証していくようにする。

- (3) 相馬地区の組織や各学校の中で、成果や課題を共有し、組織を生かした研究を進める。
- (4) 相馬地区の研究の成果や課題を明らかにして、次回の研究への方向付けを図る。

**8 研究授業計画**



\* 生活科と総合学習の成果と課題を関連させながら高め合っていく。